

## 前回会議での主なご意見

## テーマ：現役世代の防災意識を高める啓発

若年層ほど防災への取組が進んでいない傾向があることを踏まえ、北区に多く居住する現役世代をターゲットとして、防災意識が低い層には少しでも関心を持ってもらい、行動へと移せていない層には取組に参加するきっかけとなるような啓発施策について意見を聴取した。

## 【主な意見①】

- 一般的な防災知識に加えて、北区の特性に合わせた啓発や PR が必要。
- 自助について具体的に何からすればいいのか分かるように、自分でこれだけは準備してほしい・最低限お願いしたいことを北区として伝えることが必要。

→北区の特性を捉えた北区民に向けた啓発が必要

**取組方針** 北区ホームページに防災特設サイトを開設

## 【主な意見②】

- パニックになり自分勝手な行動になりがちな被災時に落ち着いて対応するためには、予めの備えが重要。
- 被災時の集合場所、備蓄品、生活圏内の注意点など家庭で話し合い家族の防災計画をつくるのが良い。
- 非常食の味や作り方、防災グッズの実際の使い方、どの程度役に立つかなどを事前に知っておくことが大切。
- ファミリー防災計画を公募し、優れたものを広報紙やホームページで発表すると良い。
- 自宅の備蓄を家族で確認する機会を年に 1 回つくり、子どもの成長にあわせて変更したり、保存期限の短くなった非常食を食べたりすると良い。

→家庭での備えが大切

**取組方針** 各家庭がくらしの中で日頃から災害に備えられるような情報を提供

## 【主な意見③】

- 一番に考えないといけないのは組織に属していない子育て中の主婦層や未就学児。
- 学校の防災教育により子どもは身近に感じるし、友達や親・家族とも話せる。
- 幼い頃から関心を持てば、家庭でも話題に上がるし、親子で取り組めば、話し合うきっかけになる。
- 子ども向けに分かりやすく、具体的に書かれている「子育てファミリーのための防災ブック」を活用すると良い。
- 習慣・繰り返しで子どもたちは育つ。小さいときからの意識と学びが大切。
- 非常食を提供してもらって子ども食堂で調理した。また皆で非常食を食べる機会を持ちたい。

→子どもへの啓発 子育て世帯への啓発が大切

**取組方針** 学校との連携、「子育てファミリーのための防災ブック」のフル活用

#### 【主な意見④】

- 大震災から時間が経過し、大震災を知らない世代も増える中、震災を風化させない啓発が大切。
- 若い世代はテレビを見ず、SNS やインターネットで自分の興味のある情報しか取り入れていないため、防災に関心を持たせることは難しい。
- 危機感があれば、時間がなくても防災について考える。いつかは災害が起こると啓発が必要。
- ハザードマップで見て北区は大丈夫と安心してしまてはいけない。
- 災害により性質は違うが、大規模停電や断水は台風や地震でも発生し、皆が備えておかないといけない。

→震災を風化させないこと、危機感を持たせることが大切

**取組方針** ホームページや SNS、口コミで災害を自分事に感じてもらえるよう発信

#### 【主な意見⑤】

- ご近所や友達とのつながりで話題になると身近なものになる。身近になれば更に共有の機会が増える。
- 防災への関心は、家族から始めて他の世帯へと広げていけたら良い。
- 子育て世帯に防災意識を広げられるように、ママ友・パパ友の中で話題にしてみることが大切。
- 子育て世帯が集まる場に出向いたり、小学生の夏休みの自由研究で発表してもらったり、SNS でインフルエンサーに拡散してもらったりと、多くの人の目に触れることが大切。
- YouTube に動画を無料でアップできる。有名人を使ったコンテンツなどで多くの方に見てもらうことが必要。
- 北区役所公式Instagramで防災ウィークを設けて、シビアでなく楽しく情報発信をすると良い。

→SNS・口コミによる拡散が効果的

**取組方針** SNS の活用、人に話したくなる面白い取組を紹介

#### 【主な意見⑥】

- 支援に回れる現役世代が支援の必要な方をどう助けるかを考えることが必要。
- 中学生や高校生や大学生には、災害時に活躍できる知識やノウハウを身につけませんかという PR が大切。

→支援者の養成が重要

**取組方針** 同年代の共感を呼べるよう若年層で防災に取り組む方の思いを取材し発信

#### 【主な意見⑦】

- 継続的な刷り込みが大切。
- 一人暮らしで家族のことを考える機会がなく、防災に関心を持ちにくい方々に向けた啓発があればよい。
- 忙しい方でも、生活の中で防災に関して見かけるようにあの手この手で露出を高めることが大事。
- 発信の仕方、内容をターゲットごとに変えることが必要。
- 防災に関して改めて考えさせられるような情報を SNS で小出しに投稿することで興味を持ってもらえる。

→くらしの中で防災を意識する機会が大切

**取組方針** 日常生活でのあらゆる場面をとらえた啓発